（参考）G7貿易大臣会合サプライチェーン強靭化アウトリーチセッション

- **自由貿易と経済安全保障を両立し、サプライチェーンの強靭化を実現**するためには、産業界を含め、Ｇ７の中での協力を深めると共に、いわゆるグローバルサウスを含むＧ７を超えたパートナー国との連携が欠かせない。
- こうした問題意識を背景に、**Ｇ７貿易大臣会合として初めて、パートナー国・国際機関・産業界の代表を招待したアウトリーチセッションを開催**（10/28@大阪）。

【参加国・国際機関】
カナダ・EU・仏・独・伊・英国・米国・日本
豪州・チリ・インド・インドネシア・ケニア
WTO・OECD・ERIA

【産業界からの参加者】
日本経済団体連合会（B7代表として出席）・
Canpotex（加）・Siemens Energy（欧）・
Rio Tinto（英）・Coherent（米）・スズキ・JOGMEC
（オブザーバ）全米商工会議所、英産業連盟、カナダ商工会議所

【主な議論内容】
- Ｇ７広島サミットでは、**「強靭で信頼性のあるサプライチェーンに関する原則」**（SC原則）を表明。
  ①透明性、②多様性、③安全性、④持続可能性、及び⑤信頼性が、G7内外の信頼できるパートナー国との間で強靭なサプライチェーンネットワークを構築及び強化する上で不可欠な原則であることを認識。
- 本セッションでは、本SC原則の具体化に向けて議論。
- 産業界からは、自社ビジネスを踏まえたベストプラクティスや課題を共有。特に、上流の原材料とりわけ重要鉱物の**調達の多様化の重要性**、SC構築を通じたグローバルサウスを含む**包摂的で持続可能な成長への貢献**、投資受入れ各国における**制度運用の透明性の重要性**、等について指摘あり。
- 招待国や招待機関からは、各国における投資促進策や国際連携の取組、自由貿易と経済安全保障のバランスの重要性などについて言及あり。
- 全体として、**国際法の遵守**や、**自由で公平で互恵的な経済・貿易関係の重要性**といった、SC原則における**「信頼性」が指し示すところの重要性**を改めて共有。